【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第２部門第４区分
【発行日】令和7年5月26日(2025.5.26)

【国際公開番号】WO2024/024025
【出願番号】特願2024-536681(P2024-536681)
【国際特許分類】
B29C 45/14(2006.01)
【FI】
B29C 45/14

【手続補正書】
【提出日】令和5年4月6日(2023.4.6)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
第一成形部と、第二成形部と、を有し、
前記第一成形部は、インサートとしての部品及びその部品と一体である第一樹脂部を有し、
前記第二成形部は、第二樹脂部を有し、
前記第一樹脂部は、第一の面と、第二の面と、第三の面と、第四の面と、を備え、
前記第一の面は環状の平面であり、
前記第二の面は前記第一の面の法線を含む４つの平面であり、
前記第二の面は前記第一の面に沿った環状であり、
前記第二の面は前記第一の面に隣接して配置され、
前記第三の面は前記第一の面の法線方向に窪み、
前記第三の面は前記第一の面に沿った環状の４つの平面であり、
前記第三の面は前記第一の面に対して前記第二の面と反対側に隣接して配置され、
前記第四の面は前記第二の面の法線方向に窪み、
前記第四の面は前記第二の面に沿った環状の平面であり、
前記第四の面は前記第二の面に対して前記第一の面と反対側に隣接して配置され、
前記第一樹脂部は、
前記第一の面の法線方向に凹み前記第三の面を溝側面として有する第一の溝と、
前記第一の面の法線方向に直交する方向に凹み前記第四の面を溝側面として有する第二の溝と、を備え、
前記第一の面の前記第二の面の法線方向の前記第二の面と前記第三の面との距離を第一の距離とし、
前記第二の面の前記第一の面の法線方向の前記第一の面と前記第四の面との距離を第二の距離とし、
前記第三の面の前記第一の面の法線方向の前記第一の面と前記第三の面の最も前記第一の面から離れた位置との距離を第三の距離とし、
前記第四の面の前記第二の面の法線方向の前記第二の面と前記第四の面の最も前記第二の面から離れた位置との距離を第四の距離とし、
前記第四の距離は、前記第一の距離に対して、１／３≦前記第四の距離／前記第一の距離≦９／１０、の関係を有し、
前記第三の距離は、前記第二の距離に対して、１／３≦前記第三の距離／前記第二の距

離≦９／１０、の関係を有し、
　前記第一の距離は、前記第二の距離に対して、２／５≦前記第一の距離／前記第二の距離≦５／２、の関係を有し、
　前記第二樹脂部は、前記第一樹脂部の、前記第一の面、前記第二の面、前記第三の面、前記第四の面の全ての面に接している、
樹脂成形品。
【請求項２】
　請求項１に記載の樹脂成形品の製造方法であって、
　前記第一成形部を金型に配置する準備工程と、
　前記金型に溶融した樹脂を供給して前記第二成形部を成形する成形工程と、
　前記溶融した樹脂が固化すると、前記第一成形部と前記第二成形部とが一体となった樹脂成形品を、前記金型から外す脱型工程と、
　を有する、樹脂成形品の製造方法。